

日韓市民ネットワーク・なごや

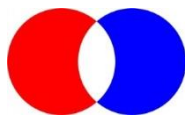
会報 No. 82
2017-10-11

한일 시민 네트워크 · 나고야

Home Page : <http://home.m00.itscom.net/nikkan/index.html>

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

朱色



紺青

目次

- 1 事務局通信
- 2 会の活動報告
- 3 お知らせ
- 4 ニュース

統括幹事：後藤和晃

事務局

事務局

事務局



事務局通信 사무국 통신

事務局統括幹事 後藤和晃

1. 岐阜市に水崎林太郎翁の顕彰碑を!! ～韓国“故徐彰教氏の悲願”の実現へ～

戦前、韓国の大邱（テグ）で水不足に悩む農民たちのため、様々な困難を克服して巨大な農業用貯水池「寿城池」を造成し“大邱農民の恩人”と謳われた日本人がいました。

会員の皆さんは、これまでの会報で、その人が岐阜市出身の水崎林太郎翁（1868～1939）という人物だったことを、よくご存知のことでしょう。



寿城池（韓国大邱市）

そして、また、1939 年（昭和 14 年）に逝去し、寿城池の畔りで眠る水崎林太郎翁の墓を、今日まで 80 年近く、守り続けてきたのが徐（ソ）さん一族で、その代表的な人物が実業家、登山家、熱心な仏教徒で 3 年前に 82 歳で亡くなられた徐彰教（ソ・チャンギョ）さんだったことも、記憶に残っているのではないのでしょうか？

寿城池の近くに土葬され眠りについた水崎翁の初代の墓守りは、徐彰教さんの父、徐寿仁さんでした。寿仁さんが亡くなると、その役割は長兄の徐大教さんに、そして、徐彰教さんと受け継がれてきたのです。

生前、徐彰教さんは、水崎翁の墓前で、こう話されました。

『兄の大教の病が重くなった時、水崎さんの墓に誘われました。墓の主は水崎さんという日本人で、農民たちのために寿城池を造ってくれた我々の恩人だから、できるだけ墓を整備して永く伝えて欲しいと言われたんですよ』

徐彰教さんは、父や兄の付託に応え水崎翁の墓を整備し、墓の横に冠石をいただいた立派な顕彰碑も建てました。

「水崎さんは、日本人だから、春にはきっと桜の花が見たいだろうと墓の周辺には桜の木を、かなり植えたんですよ！」こう話した徐彰教さ



水崎翁の墓

んの努力が実って、例年、水崎翁の追慕祭が行われる 4 月には、舞い落ちた桜の花びらが墓全体を美しく飾ります。



故徐彰教氏と顕彰碑（2010 年）

その徐彰教さんは、大邱で追慕祭を行う一方、しばしば水崎翁の故郷、岐阜市を訪れました。岐阜市で水崎翁の生地や終戦時に分骨し故郷に建てられた墓を訪問した時に、こんな言葉を洩らしていました。

「後藤さん、大邱の水崎さんの墓には顕彰碑を建てました。追慕祭もやっています。でも、岐阜では、水崎さんの墓と分らせる標柱もないし、顕彰碑もどこにもありません、我々、韓国人が今だに尊敬し、追慕している偉い人だと岐阜の人たちにぜひ、分かってほしいので、岐阜市に水崎翁の顕彰碑を必ず建てるつもりです！」と。

父と兄から、バトンを受け継いだ徐彰教さんは、残念ながら、3 年前の 6 月に病のため亡くなりました。亡くなる前に、徐さんは、墓守りのバトンを預けた李東根氏や息子の徐輔健氏に「岐阜に顕彰碑をぜひ、建てるように！」と遺言したと言います。

李東根氏たちは、まだ、50 歳前後の若い人たちで追慕祭の経費の負担もあり、なかなか徐彰教さんの遺言の実行に取りかかれないうと聞きました。

このため、今年、追慕祭が終わった一ヶ月後の 5 月に韓日の追慕祭関係者が大邱で会議を開き、「韓日双方で、水崎翁の顕彰会を立ち上げ、地道な募金活動を継続して、2～3 年後には岐阜市に顕彰碑を建てるように努力しよう！」と決めました。

いらい数か月、水崎翁の業績に関心を持つ岐阜市周辺の人々が、国際交流協会から場所を提供してもらいながら協議を重ね、この 10 月 22 日（日）の 11:00 に岐阜市の文化総合施設メディアコスモスで、日本における水崎林太郎翁顕彰会を立ち上げることを決めました。

会の会長には、元岐阜女子大学の学長で岐阜県の歴史に詳しい丸山幸太郎氏が、副会長には、岐阜市議会の前議長の杉山利男氏と、かぐや幼稚園の理事長で、故徐彰教さんと永年、親交のあった篠田正男氏とが就任される見通しです。



岐阜市の水崎翁の墓（手前）

日韓市民ネットワークなごやの関係者も私、後藤和晃や水崎翁の曾孫の水崎元宏氏が事務局要員として下働きをすることになりそうです。

10 月 22 日（日）発足予定の水崎林太郎翁顕彰会は、最初の事業を 11 月 19 日（日）10:30 に岐阜市内の水崎翁の墓の横に水崎翁の業績を記した「顕彰板」を立てる計画です。これは、顕彰碑では、ないものの初めて岐阜市内で水崎翁の事跡を称える施設となるため、19 日には顕彰板を公開する式典を行い、細江岐阜市長や大邱の李東根韓日親善交流協会会長なども出席していただく予定です。

会員の皆さん、特に徐彰教さんと交流のあった人や大邱に足を運んで頂いた方々などは、ぜひ、顕彰会に入会していただき顕彰碑の実現を後押しされるよう心からお願いします。

入会費は、2,000 円で、いわゆる年会費はありません。

なお、会員や協力者の皆さんには年末にも顕彰会への加入をお願いする文章を送らせていただくつもりです。ご了解ください。

회의 활동 보고와 알림 会の活動報告とお知らせ

1. 京畿道・高校生訪問団のホームステイを支援 ～6月3日から5日まで～

6月初旬、私たちの団体は、愛知県からの要請で一部の会員が韓国の京畿道・安養市の高校生のホームステイを引受けました。

背景には、去年、愛知県がソウル直近の自治体である京畿道と交流協定を結んだ事があり、6月の訪問団の招致は、最初の交流事業だったのです。

愛知県の大村知事は、民団主催の行事に出席した時には、最初の1～2分は、韓国語できちんと挨拶されます。そして、年に一度は、韓国を訪問するなど隣国である韓国に強い関心を持ち続けている方なので、京畿道との交流にも知事の意向が働いているのではないのでしょうか？

6月3日からのホームステイには、当会からは、後藤和晃、早間敏夫、藤本法良の3人が手を挙げ、2泊3日の間、ホストを勤めました。

後藤の場合、受け入れる相手が高校生とあって、会員の中では、若い世代に属し、韓国の大学への留学経験もある鈴村真由さんの応援も得て、無事、役割を果たしました。

鈴村氏 テダニ カムサハムニダ!!

早間さん、藤本さん、お疲れ様でした!!



韓国の高校生とホスト（一部）



会員 鈴村真由さんとハ君

なお、今年の当初計画では、8月初旬に韓国・大田市の大学生訪問団を招待する予定でした。ところが、8月の初旬にホストを引き受けられる人が、ほとんどおらず計画は、中止となりました。大田には1年延期させて欲しいと伝えてあります。



ニュース

両陛下渡来人を祀る神社にご参拝

～ 埼玉県日高市・高麗神社 ～

9月20日、天皇、皇后両陛下は埼玉県の高麗(こま)神社を初めて訪問されました。この神社を知らない方が多いと思いますので、先に由来など紹介しておきます。



高麗神社 (埼玉県・日高市)

古代、東アジアの7世紀は激動の世紀で600年に百済が唐・新羅の連合軍によって滅ぼされ、直後の608年に高句麗も同じ運命をたどります。この激動の余波で百済や高句麗の王族や官僚たちが日本に続々、亡命してきますが、高麗神社に祀られている高麗王(こまのこしき)若光も、そうした一人でした。高句麗が滅びた668年、高句麗の王族若光は国の使いとして日本に来ていましたが、帰る国を失ったため、現在の埼玉県日高市に土地(高麗郷)を賜り、定住します。若光が亡くなると、高句麗郷の人々は若光の霊を祀るため高麗神社を建て、直系の子孫が代々の宮司を勤めるようにしたのです。

私たちの会が2005年に“渡来人の里を東国に訪ねる紀行”を行った際、私たちも高麗神社を訪れ、若光の血統を代々1300年余り受け継いできた現在の宮司の高麗文康さんから貴重な話の数々を聞くことができました。

さて、両陛下のニュースに話を戻します。今回の高麗神社へのご訪問は20日から21日にかけての埼玉への1泊2日の私的な旅行の一環とされ、新聞もテレビもさらりと扱っているだけでした。

しかし、私たち日韓の民間交流を進めている関係者からみると、今回のご訪問には無言のメッセージが込められているように思えてなりません。

現在日本と半島との関係は、北のミサイルや南の慰安婦、徴用工問題などが影を落として緊張が続き関係改善への出口が見えない状況と言ってよいでしょう。



参拝される両陛下 (文化新聞より)

陛下は元来、日韓関係の改善に一見識ある方で、2002年のサッカーワールドカップの日韓共催の前には「我が天皇家も桓武天皇の母君が百済王族出身の方だったので、韓国にはゆかりを感じています!」と発言されています。

そんな陛下だけに、日本と半島との関係がどんどん遠のいて見える状況を悲しみ、高麗神社への訪問に、今一度、日本人が古代からの半島との「ゆかり」を思い起こし、「永い隣人同士のよしみ」をぜひ取り戻して欲しいという無言のメッセージを込められたのではないかと考えてなりません。

1. ワールドコロボフェスタ 2017 にブース出展 ～県内の国際交流団体が顔を揃えます～

10月14日（土）・15日（日）10:00～18:00 オアシス 21 A7 ブース

*日韓市民ネットワークなごやが出展するA7ブースは、ブース全体のほぼ中央に位置しています。チマチョゴリを着た会員が対応、韓国の旅ガイド本や各種地図、平昌オリンピックのパンフなど豊富に用意しています。他にも多彩な国々と交流する団体がブースを構えていますので、ぜひ、お出かけ下さい。



日韓市民ネットの昨年のブース



ワールドコロボの舞台

2. 岐阜・水崎林太郎翁顕彰会関係

- ① 10月22日（日）水崎翁顕彰会発足式 11:00～場所：岐阜市メディアコスモス
- ② 11月19日（日）水崎翁墓地に”顕彰板“を設置 10:30～場所：岐阜市穴窯墓地

*上記については、事務局通信で詳しくふれています。

3. 第50回記念 韓日歴史・文化フォーラムで会員登壇

11月12日（日）14:00～

テーマ：「未来指向の日韓関係」

場所：愛知民団5階ホール

講師： 李孫市氏（早大）
仲尾宏氏（京都造形大）
西野純也氏（慶応大）
コーディネート： 尹大辰氏（会顧問）
後藤和晃氏（会事務局）

参加費： 1,000円（シンポ終了後懇親会があります）

参加手続き： 愛知民団フォーラム事務局（FAX 052-452-1716）
まで、氏名・住所・電話番号明記の上、FAX願います。
当日は入場制限（150名まで）がありますので…

4. 日韓 “市民学生” 交流バス旅行

12月2日（土） テーマ：杉原千畝の故郷探訪～岐阜県八百津町～

9:00 栄スタート

木曽川沿いの自然と歴史が息づく街、八百津町は第2次世界大戦のさなか、ナチスの手を逃れようとするユダヤ人6,000人の命を救った外交官杉原千畝（すぎはらちうね）の故郷です。会員、在日、ニューカマー、留学生などで八百津を探訪。千畝の記念館や宮本武蔵に関わった寺や滝も歩きます。名古屋に帰ったら、交流懇親会を実施したいと思います。なお、マイクロバス利用なので、乗車できる方は限りがあります。参加ご希望の方は11月半ばまでに事務局後藤までFAX(0587-56-6788)で申し込んでください。

参加費： 成人3,500円・学生2,000円・留学生 無料
懇親会の支払いで不足する分は、成人がワリカンで!!



武蔵が二刀流を開眼した谷



杉原千畝記念館

来年の日韓交流史講座は
「知られざる東アジアの古代大
国渤海」です。
講座は4月～5月まで5回です。
旅行は9月17日（月）～23日
（日）の予定です。



武蔵が座禅した石



編集 応援（非会員）中川修介